

## これまでの議論の要約

### 仕組み

#### 多様な個性を生みだす仕組み

- 自主性・好奇心・行動力を涵養
- 他者との違いを生み出す力
- 多様性を受容する感性
- 「リアル」「生」の経験の提供
- 大学のプラットフォーム化
- 体験・五感のアーカイブ

### 価値

個の  
多様性

リアル

新しいを創る  
(イノベーション)

社会の  
多様性

#### 多様な個人が活躍する環境整備

- 各人の多様性・能力を引き出す
- 時間等の需給をマッチング
- 多様な選択肢と選択の自由の確保
- 再チャレンジ可能な仕組み
- ベーシックインカム検討

#### 知識のプラットフォーム化

- 知的資産をシェアして利活用
- データ分析等による新しい価値
- 情報を媒介とするエコシステム
- SDGsの中での融合促進
- 「リアル」のアーカイブ化

#### 多様な価値を内包する社会システム

- 新たな指標を開発
- 多様な個人を包摂・統合的運用
- 様々なシステムの実験的導入
- 異質なものと共存・融合
- 外国人材活用(例:e-citizen)
- 地域ごとに保有する資産の活用

## 日本社会・文化の特徴

極端な一方に触れることが  
少ないバランス感覚

「三方よし」に現れるような利益追求と  
他者還元同時達成、持続性重視

非中央集権的志向、共同体意識、(後援  
を含む)共助

自然の「征服」ではなく「共生」の思想

(倫理・思想・慣習面における)  
ドグマや禁忌の少なさ

特に表現の自由や科学技術の受容

ただし、一方で社会的逸脱にはな  
らない内在的バランス

非英雄や未熟さをありのままに受  
け入れる視点

労働を「苦役」より  
「生産」「貢献」等  
とする捉え方

継続的に改良・改  
善に向かう真面目  
さ・器用さ・職人  
性、「道」の追求

富裕層のみならず庶  
民も豊富な文化活動  
を需要・享受

非言語的感覚や「余  
白(間)」「アソ  
ビ」「単純化(デ  
フォルメ)」の尊重

歴史、伝統  
の存在

新たなものを  
受け入れ、  
独自の観点で  
解釈しなおす  
編集能力

## 取り組むべき仕組み案の例

我が国に「ヒト、モノ、カネ」に加えて「知」が集積し、将来  
にわたる「価値創造立国」となるために必要なシステムの要素

1. 知的資産の創出や利活用による価値創出のデザインができる人材・組織を育成し、それらの人材・組織がつながってイノベーションが起きやすくなるシステム
2. 知的資産の利活用による価値創出の活性化・最大化を図るため、所有から利用へ、交換から共有へという変化を踏まえ、その付加価値の共有・分配も含めたデザインにより、知的資産の柔軟な交流・共有を促すシステム
3. 多様性・選択肢を確保し、世界に共有される価値や感性を持続的に生産・発信・展開するシステム

## 具体的なシステムの例

新たな価値創造を  
行える人材の育成

SDGs等実現の  
ための知的資産  
プラットフォーム

クールジャパンの  
魅力分析・  
効果的発信

価値創造メカニズム  
の見える化とそれを  
活かした組織経営

次世代のコン  
テンツ創造・活用  
システムの構築

クールジャパンを  
支える外国人等の  
集積・活用

多様な人材・組織  
が集う場の形成

デジタル  
アーカイブ  
の構築